

社会学部報

- ◇昭和50年5月28日学部研究会発表者杉山貞夫教授「高令者の生活環境に関する研究——老人福祉センターの環境について——」
- ◇昭和50年6月25日学部研究会発表者森川甫教授「改革後のフランスの印象」
- ◇昭和50年9月17日学部研究会発表者半田一吉教授「英語の現在時制」
- ◇昭和50年10月22日学部研究会発表者津金沢聡広助教授「英・独・東欧のマスコミ事情」

海外出張

- 杉山貞夫教授 昭和50年5月12日より5月18日まで、日
本人間工学会常任理事、国際人間工学会理事として、
航空安全会議に出席、並びに講演のため、マレーシア
連邦へ。
昭和50年7月20日より7月30日まで、国際人間工学会
連合理事会出席のため、西ドイツへ。
- 森川甫教授 昭和50年6月30日より8月30日まで、パス
カル研究のため、フランスへ。

会員の新著

- 津金沢聡広助教授 「放送論概説」(共著) 昭和50年4
月 ミネルグア書房
- 山本武利助教授 「新聞・テレビをどう見るか」 昭和50
年3月 ポプラ社
- 牧正英教授 「産業社会と疎外」(訳) 昭和50年6月
法律文化社
- 武田建教授 「親と子の臨床心理」 昭和50年9月 創元
社

学会消息

◇関西社会学会

関西社会学会第26回大会は5月24(土)、25(日)の
両日にわたって、本学第4別館で開催された。前回関西
社会学会が本学で開催されたのは昭和31年第7回大会の
ときであるから、今回は約20年ぶりである。前回のとき
には社会学部はまだできていなかったし、会員数も現在
の半分ほどの時代であったから、今度の大会を見ると、
全く今昔の感にたえないものがある。委員をされている
余田博通教授の御父上が大会前に御逝去という不幸があ
ったが、大会は出席者230人にのぼる盛会であった。今
回のシンポジウム「地域社会の変貌」は第1日行われた
が、司会に当たられる予定であった余田博通教授は御父
上の葬儀のため残念ながら欠席された。第2日の研究報

告では、大学院博士課程の石井徹君が「仕事の満足にお
ける技術要因の再検討」について、同博士課程奥田憲昭
君が「周辺都市と社会関係」について発表を行ったほか
小関藤一郎教授は「階級・階層」室の司会を行った。さ
らに第2日の午後の重点部会の「シンボル・意味・情
報」室で中野秀一郎教授はH. D. ダンカンの「シンボル
と社会」を中心に、「マクロ情報現象へのシンボル分析
的アプローチ」について発表を行うなどみるべき活躍が
あった。なお、大会閉会の前の挨拶は余田教授に代って
小関教授が行った。

◇日本心理学会

日本心理学会第39回大会は去る9月5～7日の3日間
東京都立大学主催のもとに国立教育会館(東京虎ノ門)
において開催された。本学部関係者の参加は次の通り。
シンポジウム「グループ・アプローチの基本的課題」
における発題者として
佐々木薫 リーダーシップとワーカースhip——社会心
理学的分析を通じて——
研究発表

- ・井上和子・田中国夫、態度と行動の関係——その測定
基準に関する一考察——
- ・井上徹・田中国夫、対人認知に及ぼす性と役割の影響

◇日本グループ・ダイナミックス学会

日本グループ・ダイナミックス学会第23回大会は去る
9月1～2日の2日間にわたって名古屋大学(教育学部)
において開催された。本学部関係者の参加は次の通り。
・佐々木薫 クラブ活動と学生生活——クラブ活動参加
者と不参加者の比較——
・山口真人・佐々木薫サマーキャンプにおけるワーカ
ーのリーダーシップと成員の変化に関する実証的研究(。
なお、山口真人氏は本年3月本学大学院社会学研究科
博士課程満期退学後、4月より南山短期大学講師に就
任された。)

◇日本社会心理学会

日本社会心理学会第16回大会は去る9月3～4日の2
日間にわたり早稲田大学主催のもとに日本都市センター
(東京)で開催された。本学部関係者の参加は次の通り
・中里浩明・大前衛・田中国夫反応傾性の個人差と対人
魅力(大前衛氏は本学大学院社会学研究科修士課程を
修了され、現在湊川女子短大講師)
・井上和子・田中国夫価値と態度の構造的把握に関する
一つの試み

◇日本教育心理学会

日本教育心理学会第17回総回は去る9月11～13日の3日間、宮城教育大学（仙台）で開催された。本学部関係者の参加は次の通り。

- ・山口真人・佐々木薫 学校生活への不適應の社会心理学的研究（山口真人氏は南山短期大学講師）
- ・田淵 創 親の養育態度に影響を及ぼす要因の検討(4)

◇日本新聞学会

昭和50年6月6～7両日、新潟グランドホテルにおいて、大会ならびに春季研究発表会が開催された。個人発表のほか、シンポジウム「ジャーナリズムの責任」がおこなわれ、戦後30年という節目におけるジャーナリズムの在り方が問い直された。本学部からは山本武利助教授が出席した。なお、今春、学会最初の理事公選がなされ津金沢聡広助教授が選ばれた。